

大学女子サッカー選手の試合中に発揮される高強度のプレー分析について

順天堂大学
スポーツ健康科学研究科
学籍番号：4118036
氏名：舂井 裕輝

【目的】

大学女子サッカー選手を対象とし、試合中に高強度走に含まれるスプリント (> 21 km/h) が発揮される局面を明らかにすること。

【方法】

関東大学女子サッカーリーグ 2 部に所属する、ゴールキーパーを除いた、大学女子サッカー選手 18 名を対象とした。対象試合は、第 33 回関東大学女子サッカーリーグ戦の 8 試合とし、対象者はウェアラブルデバイスを着用して試合に出場した。その際に試合の映像をビデオカメラにて撮影した。デバイスから得られた試合中のスプリントのデータを抽出し、そのデータと映像とを分析専用ソフトウェアを用いて統合し、スプリントが試合中のどのような局面で発揮されているのかを分析項目に従って、ポジション毎に分析した。

【結果】

スプリントの本数はそれぞれの分析項目において、ポジションによる回数の差が認められた。スプリントの距離においては、各分析項目によるポジション毎の距離の差は認められなかった。「動き出し」のスプリントの方が「追いかけ」のスプリントより有意に長い距離を走っていた。スプリントの最高速度の結果、それぞれの分析項目とポジションによる差は認められなかった。一方で、スプリントの動きにおいて、「その他」のスプリントの方が「追いかけ」のスプリントより有意に長い距離を走っていた。

【結論】

大学女子サッカー選手の試合中の高強度走が発揮される局面は、回数において、それぞれ、ポジションや試合の局面によって異なること、高強度走の距離や最高速度は、試合の局面によって異なることが示唆された。